

111 大正時代 第一次世界大戦と政党内閣 桂・西園寺・桂・山本・大隈



< 第二次 西園寺 内閣 >

- ・立憲政友会の政党内閣
- ・明治天皇崩御、**大正**に改元
- ・**美濃部達吉**『憲法講話』
- **天皇機関説**で政党内閣を理論武装
(議会の信任を失った内閣は総辞職すべき)
- ・桂太郎も政党 **立憲同志会** 創設に動く
- 山県、そんな桂を嫌って内大臣兼侍従長に
- ・ **二個師団増設** 問題
立憲政友会、財政難を理由に拒絶
- ・ **上原勇作** 陸軍大臣の単独辞任
- **軍部大臣現役武官制** により
内閣倒れる(陸軍が陸相の後任出さず)



< 第三次 桂 内閣 >

内大臣兼侍従長の桂が組閣

宮中と府中を乱すとの**大衆の怒り**招く
天皇の詔を書く内大臣が自分を首相に任命?! するい!

閥族打破、憲政擁護 の大衆運動勃発

大衆指導者… **尾崎行雄**、**犬養毅**

→ 桂内閣、議会を包囲され53日で倒された。

(**大正政変**)

明治時代は…新聞紙条例…知識人だけ取り締まればOK
大正時代は…大正政変…不特定多数の大衆の存在感が大



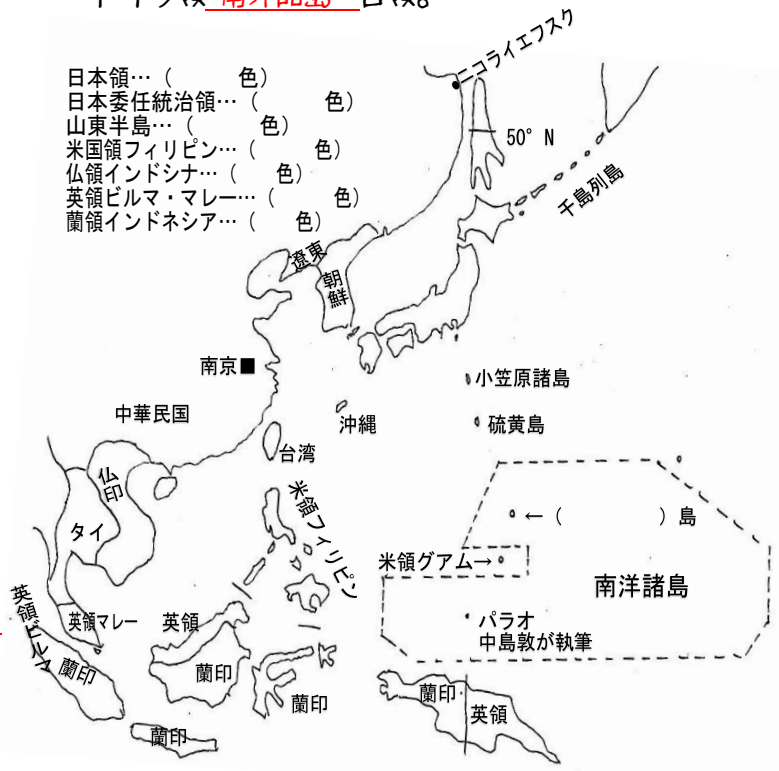
< 第一次 山本権兵衛 内閣 >

- ・薩摩出身の海軍軍人が組閣。
- ・立憲政友会の政党员が多数入閣。
- ・ **文官任用令** を再改正
政党员も高級官僚になれるように戻しました。
- ・ **軍部大臣現役武官制** 現役規定削除
現役規定削除であって、廃止ではありません。現役を退いた予備・後備の大將・中將もなれるようにしただけです。
ただ現役を退けば、軍人も政党员になります。
- ・ **シーメンス事件** で引責辞任。大衆激昂。
独シーメンス社から海軍省官僚がワイロ
英ヴィッカーズ社からも戦艦「金剛」発注のワイロ
シーメンス・ヴィッカーズ事件ともいいます。

< 第二次 大隈 内閣 >

大衆の怒りをおさめるため、元老山県は国民的人気のある大隈を次の首相に選びました。

- ・ **立憲同志会** を与党とする政党内閣。
- ・大隈は高齢、加藤高明が主導する内閣。
- ・1914年 **第一次世界大戦** 勃発
- ・加藤、日英同盟を理由に対ドイツ宣戦。
- ドイツ領 **山東半島** 占領。
- ドイツ領 **南洋諸島** 占領。



加藤外相 **対華二十一条要求**

第1号～第5号を **袁世凱** 政権に要求

欧米は世界大戦で中国にかまう余裕ない!

→ 第5号を除き受諾させた。

(中国、**国恥記念日** を制定)

元老山県有朋「訳のわからぬ無用の過剰まで羅列して請求したは大失態。日本の名誉を傷つけた」

空前の **大戦景気**

→ 課題だった **二個師団増設** 衆院通過

第12回衆議院総選挙で買収事件発覚

→ 大隈内閣総辞職、元老会議で寺内組閣。

111 大正時代 第一次世界大戦と政党内閣 桂・西園寺・桂・山本・大隈

大戦景気

輸出先	輸出品	備考
欧州	軍需品	船舶も売れる
アメリカ	生糸	戦場にならず好景気
中国市場	綿布	市場から欧州製消えた

懸案の 二個師団増設 も議会通過、実現



二個師団増設が衆議院を通過して実現にこぎつけた。シーメンス事件のことも国民はいつの間にか忘れた。つまり、大隈はもう用済みということよ。